

株式会社ピーシー・ブレイン お問い合わせ電話番号:047-311-6677

☆今月のメニュー

■SEOトピック

グーグルがスパム対策のアップデートを実施

■スマートフォンサイト作りのヒント

- 対応を考えるタイミング
- SEO対策にも注意が必要

■ホームページの改ざんにご注意ください!

- 昨年度の2倍以上のペースで被害が拡大しています

【スマートフォン向けページで直帰率を改善】

スマートフォン向けのページを準備しただけ直帰率が大幅に改善するようなケースがあります。

特に検索エンジンから直接誘導されるようなページ（検索結果に表示されるページ）の場合は、見やすさが利用者の評価に与える影響はかなり大きいのです。

スマートフォンユーザーは、見づらいと判断した時点で離脱してしまい、二度と戻ってきません。

逆に使い易ければしっかりと見てくれるのでPVも滞在も増えます。

スマートフォンでのアクセスが多く直帰率が高いページはスマートフォン向けに最適化したページを作成することをオススメします

こんにちは、ピーシー・ブレインの高山です。
最近の梅雨は急な強雨になることも多いので、「Xバンド MPレーダ」をよく使っています。1分ごとの雨の様子も分かるのでとても便利です。アプリもあるので気になる方はチェックしてみてください。
さて、今月もホームページの活用方法を中心とした「WEBマーケティングのヒント」というタイトルで情報をお届けいたします。

スパム対策のアップデートが実施されました

グーグルは、5月に検索エンジンアルゴリズムの変更を実施・適用したことをアナウンスしました。

これは検索エンジンスパムを排除を目的としたもので、2012年4月に初めて導入された通称「ペンギンアップデート」の第2弾です。

低品質なリンクサイトの評価を下げる、検索順位を上げるための有料リンクへのペナルティなどの施策が実行され、今回はそのアルゴリズムを大きく見直したとされています。

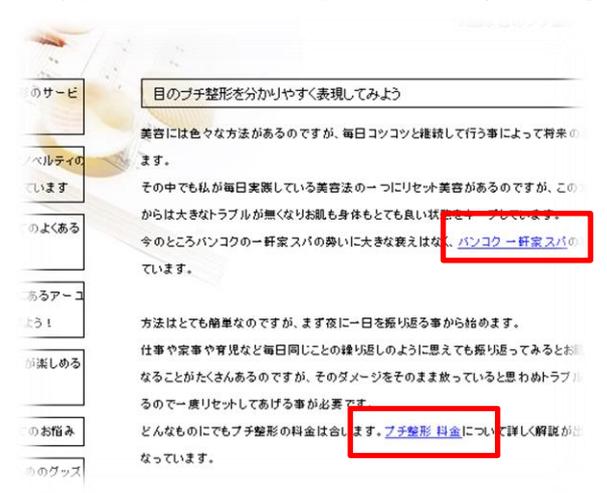
この変更は事前にアナウンスされていて、SEO業界でも注目を集めていました。

さて、このようなアルゴリズムで影響を受けるのは検索順位を上げるために数多くの被リンクを提供している低品質なホームページですが、その一例をお見せしましょう。

右に掲載したページは、誰かに見せるために作られたものではなく、特定のキーワードでのリンクを提供するために作られています。

異なるキーワードでいくつかのリンクが書かれていて、どこかの業者が作作的に作ったものであることが分かります。

ちなみに、グーグルにこのホームページのアドレスを入力しても検索結果に表示されません。検索エンジンからは排除されているという状態なのです。



スマートフォン対応を始めるタイミング

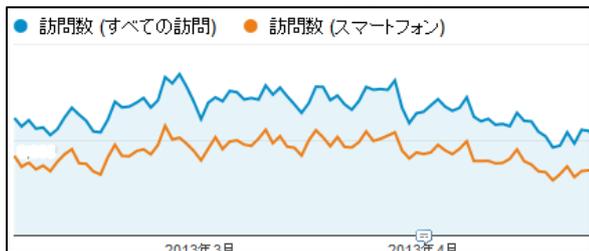
先日総務省から発表された「平成 24 年通信利用動向調査」によれば、スマートフォンの世帯保有数の割合は昨年から 20 ポイントも急伸し 50%に達しています。（パソコンは、逆 75.8%に 2 ポイントダウンしています）
 実際、私たちのところにも最近はスマートフォン向けのホームページを作りたいという相談が増えてきています。

これまでの PC 用に作られたホームページは、スマートフォンでも見ることはできますが、表示はそのまま縮小され、ボタンやリンクなどを指でなぞって操作は使い心地が良いとは言えません。

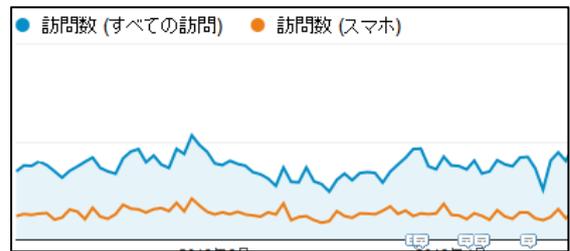
そこでスマートフォン向けの対応をそろそろ考えるようになるのですが、その前に確認しておくことがあります。
 まずは、現状の利用者の状況をチェックしましょう。

ホームページのアクセスに占めるスマートフォン利用者の割合は、アクセス解析を利用することでカンタンに調べることができます。

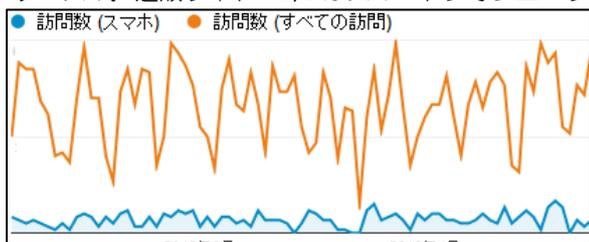
実際にいくつかのサイトの例を示します。



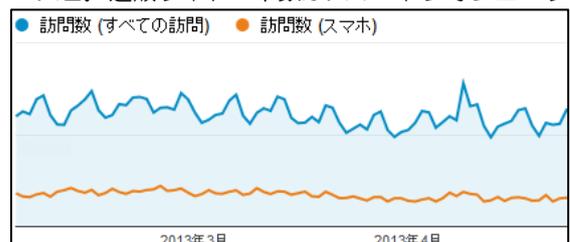
ケース1. 通販サイト 2/3がスマートフォンユーザー



ケース2. 通販サイト 半数がスマートフォンユーザー

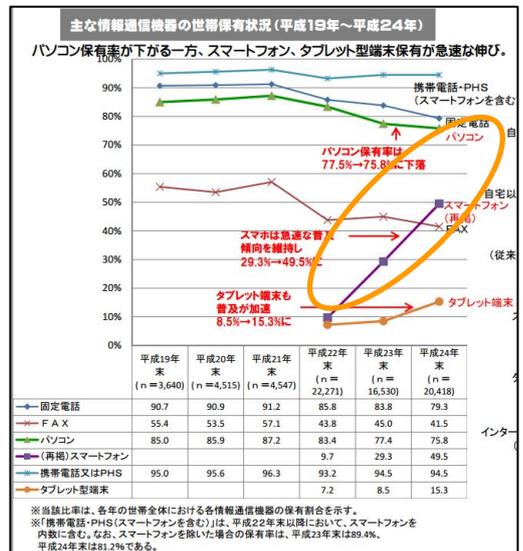


ケース3. 法人向けサービス 大半がPCユーザー



ケース4. 個人向けサイト 1/3がスマートフォン

傾向としては、企業向けサービスを提供している・情報を掲載しているところでは、パソコンからのアクセスがまだまだ多いのに対して、個人向けの商品やサービスを提供しているところでは、スマートフォンからのアクセスの方が多いところもでてきています。上記のケース1、2の場合は、スマートフォンからの利用者が既に半数以上ありスマートフォン対応は必須です。（実際スマートフォンサイトは稼働しています）。
 ケース3のような場合は、あまり気にしなくても大丈夫です。ただし、状況の確認は継続しましょう。
 そして、ケース4ですが、アクセスの1/3程度がスマートフォンユーザーです。スマートフォン対応を考え始めても良いタイミングです。グラフでは割合はあまり変化していませんが、スマートフォン向けのサイトが準備されるとページビューや利用者が増加することが十分に期待できます。
 このように実態を確認しながら計画をたててゆくことをオススメします。



スマートフォンサイトの SEO 対策上の注意点

スマートフォン向けのホームページについて、この6月にGoogleから重要なアナウンスがありました。誤った設定のされたスマートフォン向けサイトの**検索結果のランキングを下方に調整する**というちょっとショッキングな内容です。（※厳密には内部で管理している検索順位を変更する訳ではなく、PC で検索した場合にはそれまでと同じ順位で表示されます。スマートフォンで検索した場合に、結果を表示するところでランキングを調整するという機構のようです。）

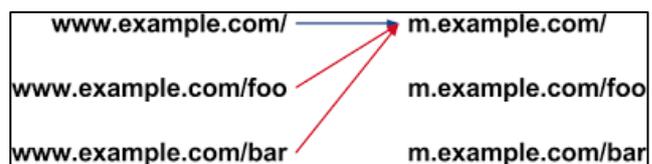
スマートフォンサイトを作成する際に今の時点で比較的多いのは、既存のサイトを含めて全体を見直して作り替えるのではなく、既にある PC 向けサイトに追加するという方法です。この場合は、スマートフォンから PC サイトにアクセスしたものを対応するスマートフォン向けサイトのページにリダイレクトさせることになります。このリダイレクトの設定の際には、注意が必要です。

不用意に設定しまうと、Googleが指摘している「設定ミス」と判断されてしまいランキングが下がる可能性があるのです。具体的には以下のようなものをミスとして具体的に挙げていますので、チェックしてみてください。

✓ 正しくないページに誘導される

PC 向けページのアクセスをスマートフォン向けに転送する際に、右図の**赤矢印**のように全てトップページにリダイレクトするよう設定しているようなケースは間違ったケースとして認識されます。

対応するページにリダイレクトするようにしましょう。



✓ スマートフォンサイトにページがない

PC サイトと1対1に対応したページがない場合で自動的にリダイレクトされるようなケースが発生します。リダイレクトの設定をしっかりとチェックしましょう

✓ 再生できない動画を掲載している

スマートフォンサイトでの動画は Flash ではなく対応されている形式を利用しましょう

✓ 表示速度が遅い

スマートフォンからのアクセスは PC と比べると通信回線の問題でどうしても表示が遅くなりがちです。一方でスマートフォンユーザーは PC ユーザーに比べてもさらにせっかちなので、PC 向けのページでも表示が遅いと感じている場合は、サーバーの移転やアップグレードなどの対策も考えましょう。

他にも、「アプリのインストールを促す表示をする」「PC 向けサイトとスマートフォン向けサイト間のリンクが不一致」なケースについても問題があると認識されてしまいます。

Googleは検索エンジン利用者が快適に利用できる状況を好ましいとしています。自らスマートフォンを操作して実際に検索エンジンからホームページにアクセスした時に、不便、違和感を覚えられないような操作が実現できているかを確認しておく必要があります。

スマートフォン向け検索でのランキング変更について(Google)

<http://goo.gl/8kbX0>

株式会社ピーシー・ブレイン

〒270-2253
千葉県松戸市日暮 1-2-6
勝どきビル3F

電話番号
047-311-6677

Fax
047-311-6678

E-mail
info@pcbrain.co.jp

受付時間：
9:00～17:30

地域で一番ネットを使った
商売に詳しいコンサルティ
ング企業

- Web マーケティングコンサル
- ネット集客支援
- ホームページ制作
- SEO リフォーム
- WEB システム開発

当社 Web サイト：
<http://www.pcbrain.co.jp>
<http://www.webquick.jp>



ホームページの改ざんに注意！

5月号のニュースレターでもお伝えしたのですが、今年に入ってホームページの改ざんが多発しています。

昨年（平成24年）度と比べても2倍以上のペースで発生している状況で、情報セキュリティ情報を発信しているIPAだけでなく、警察庁でも注意喚起を呼びかけています。

2013年6月のよびかけ(IPA)

<https://www.ipa.go.jp/security/txt/2013/06outline.html>

ウェブサイト改ざん事案の多発に係る注意喚起について(警察庁)

https://www.npa.go.jp/cyberpolice/detect/pdf/20130524_1.pdf

最近では特定の企業や団体が狙われるのではなく、あらゆる業種・個人を含むあらゆる対象を無差別に狙うようになってきているので他人事ではありません

ところで、ホームページの改ざんと聞くと、サーバーのセキュリティについて注目が集まりがちですが、実はそれだけではないのです。むしろホームページのサーバーやレンタルサーバー会社側でしっかりと管理しているのでセキュリティレベルは高く、外部から侵入することは容易ではありません。

一方で管理しているパソコンなどの端末については、個人に任せのセキュリティ対策で、ウイルス感染したパソコンを経由して改ざんされているケースがかなり多いのです。

特に社内でホームページの更新などを行っている場合は、管理しているパソコンに悪意のあるプログラムなどが仕込まれると、ホームページに接続するためのFTPなどの情報が盗み取られてしまいます。自分たちのホームページが改ざんされるだけでなく、そこにウイルスを仕込まれてしまうと今度は加害者側になってしまいます。

そのようなことにならないためにも、ホームページの管理に利用しているパソコンについては特にしっかりとシステムのアップデートやウイルス対策を行ってください。

ニュースレターの感想、取り上げて欲しいテーマ、相談など、ぜひご意見をお聞かせ下さい！
→ FAX:047-311-6678 / 電子メール：info@pcbrain.co.jp

株式会社ピーシー・ブレイン

発行責任者：高山卓巳

〒270-2253
千葉県松戸市日暮 1-2-6
勝どきビル3F

TEL: 047-311-6677 FAX: 047-311-6678 Email: info@pcbrain.co.jp

